

看護の象徴に誓い

学生121人が戴帽式

戸田中央看護専門学校

戸田中央医科グループ（戸田市本町、中村隆俊会長）が運営する戸田中央看護専門学校が、川口市の川口総合文化センターリリア音楽ホールで行われた。

戴帽式は、入学してから一定期間、看護の基礎を学び、看護師の資質があると認められた学生に、看護の象徴であるナースキャップを与える儀

式。同校では1977年の開学以来実施しており、同日は看護学科1年生121人が戴帽式に臨んだ。

生徒たちは、ナイチンゲール像を舞台の中心に、パイプオルガンの音色が静かに鳴り響く中、壇上でナースキャップを戴き、ナイチンゲールの心を受け継ぐキャンドルをどもした。写真。

式辞で中村毅校長は「医療も看護も大切なのは人と人との信頼関係。コミュニケーションを大事に、人間性豊かな看護師に育ってほしい」と激

励。学生たちは「仲間と切磋琢磨し、自分の行動に責任を持ち、思いやりの心を持って接していきます」と誓いの言葉述べた。
(土沢貴弘)

